

参 考 資 料



全国養護教諭連絡協議会
第18回学校保健連絡協議会開催要項

1 目 的

子供たちの心身の健やかな成長を願い、生涯にわたる健康づくりに果たす養護教諭の役割に大きな期待が寄せられている。養護教諭として学校の教育問題や子供たちの健康課題に適切な対応ができるような研修を深めると共に、会員相互の連絡・連携の推進を図るものである。

2 日 時 平成28年6月18日(土) 午前10時20分～午後4時40分
(受付10時～)

3 会 場 ヒューリックカンファレンス
〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-22-16 ヒューリック浅草橋ビル3F
TEL 03-5822-5971 FAX 03-5822-5972

4 内 容 講演

講 演 「成長曲線に基づく児童生徒等の健康管理・指導支援について」

講 師 東京女子医科大学 名誉教授
和洋女子大学 教授 村田光範先生

5 日 程

10:00	10:20	11:30	12:40	15:15	15:45	16:40
受付	第18回学校保健 連絡協議会 講演	昼食	平成28年度総会	文部科学省 調査官 講話	ブロック別 情報交換	

※11:30～11:40までは、諸連絡があります。

6 参加申込み

- ・各研究会代表者とオブザーバー1名とし、別紙申込書によりFAXで申し込む。
- ・総会に欠席する場合は、委任状に押印の上、郵送する。
- ・申込締切は 平成28年5月23日(月)

7 その他

- ・よりよい学校保健連絡協議会になるようご協力をお願い致します。

第 19 回研修会開催要項

1 目 的

- ・児童生徒等の心身の健康を育む養護教諭の専門的な力量の向上をめざし、学校保健の充実発展に寄与する。
- ・養護教諭が、学校保健活動を推進していくうえで役立つ保健管理、保健教育、保健室経営、最新医学情報などについて研修を深め、さらなる資質能力の向上を図る。

2 日 時

平成 28 年 7 月 28 日 (木) ・ 7 月 29 日 (金) ・ 7 月 30 日 (土)
午前 10 時 00 分～午後 4 時 40 分 (受付：9 時 30 から)

3 会 場

ヒューリックカンファレンス

〒111-0053 東京都台東区浅草橋 1-22-16 ヒューリック浅草橋ビル 3F
TEL 03-5822-5971

4 主 催

全国養護教諭連絡協議会

5 日程及び内容

* 1日目 7月28日 (木)

9:30	10:00	12:30	13:30	16:30	16:40
受付	開講式 「全身の健康に密接に関連する 歯・口の健康づくり」 ～科学的根拠に基づいた関連性について～ 日本大学歯学部 学部長 前野 正夫 先生	昼食	「学校運営と養護教諭」 長野市立戸隠中学校 校長 岡本 伴子 先生	閉講式	

* 2日目 7月29日 (金)

受付	開講式 「これで自信がつく、保健室で 最低限やっておきたいこと」 花見川中央クリニック 院長 北垣 毅 先生	昼食	「学校現場で、子どもの安心・ 自信・自由を守るために」 ～弁護士の子どもの権利擁護実践から～ 法律事務所 たいとう 弁護士 佐藤 香代 先生	閉講式
----	--	----	--	-----

* 3日目 7月30日 (土)

受付	開講式 「リスクマネジメントと ヒューマンエラー対策」 自治医科大学 教授 河野 龍太郎 先生	昼食	「わかって欲しい 子どもの心臓病とその症状」 ～児童・生徒からのSOSメッセージとは?～ 東京医科歯科大学 教授 土井 庄三郎 先生	閉講式
----	---	----	--	-----

6 募集定員

各日 132 名（標準収容人数） （定員になり次第締め切り）

※申し込み状況は、随時ホームページ上でお知らせしていく予定です。

7 参加費

3 日間参加：15,000 円 2 日間参加：11,000 円 1 日参加：6,000 円

8 参加申込

（1）申込期間

平成 28 年 6 月 20 日（月）～7 月 8 日（金）まで

（2）申込方法

全国養護教諭連絡協議会のホームページより、申込用紙をダウンロードし、FAX で申し込んでください。

（3）申込の問い合わせ先

（株）JTB 関東法人営業埼玉南支店

〒332-0012 埼玉県川口市本町 4-3-2 明邦川口第 8 ビル 4F

TEL 048-227-2503 FAX 048-227-2567

「全国養護教諭連絡協議会 第 19 回研修会」担当：丸山佑太

営業時間 月～金 9:30～17:30

9 その他

研修についての問い合わせ先

全国養護教諭連絡協議会 事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 5F

TEL 03-3433-5767

平成 28 年度全国養護教諭連絡協議会 第 22 回研究協議会開催要項

1 趣 旨

近年の社会環境の複雑な変化により、子供たちの生活様式が多様化し、心身の健康問題はますます深刻化しています。このような中、学校教育において子供たちの健康課題を的確に把握し、健やかな成長を支援するとともに、健康の保持増進に必要な実践力を育成する教育活動として健康診断の果たす役割は重要です。

これまで、その検査項目等については、子供たちの健康問題の変化や医療技術の進歩等をふまえ、見直しが行われてきました。

平成 28 年 4 月には、「学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令」が施行され、児童生徒等の健康診断の検査項目等が一部変更されました。中でも「四肢の状態」が必須項目に加わったことにより、運動習慣の二極化という現代的な健康課題を重視し、生涯にわたって健康的に生活するために運動器の状態に留意していくことが示されたといえます。

今回の研究協議会では、子供たちの健康課題を解決するために、保健管理の中核である健康診断を最大限に活用し、保健教育や健康相談、組織活動等に発展させた実践から、健康診断の意義と役割についてあらためて理解を深めることを目的とします。

2 主 題

「時代の変化に対応した養護教諭の役割を追究する」

— 子供たちの未来を支える健康診断の在り方とは —

3 開催日時

平成 29 年 2 月 24 日（金）午前 10 時～ （受付 9 時 30 分～）

4 会 場

メルパルクホール

〒105-8582 東京都港区芝公園 2-5-20 TEL 03-3459-5501

5 主 催

全国養護教諭連絡協議会

6 共 催

公益財団法人 日本学校保健会

7 後 援

文 部 科 学 省
(公社) 日本薬剤師会
全国高等学校長協会
東京都教育委員会

(公社) 日本医師会
全国連合小学校長会
全国特別支援学校長会
(一財) 東京都学校保健会

(一社) 日本学校歯科医会
全日本中学校長会
全国学校保健主事会
日本教育シューズ協議会

8 日 程

9:30 10:00 10:30 12:00 13:10 13:55 16:25 16:30

受 付	開 会 行 事	特 別 講 演	昼 食	基 調 講 演	フ ォ ー ラ ム	閉 会 行 事
--------	------------------	------------------	--------	------------------	-----------------------	------------------

9 内 容

- (1) 特別講演 「今を生きる 一心と技で命をつなぐために」

順天堂大学医学部附属順天堂医院院長 心臓血管外科教授 天 野 篤

- (2) 基調講演 「健康教育の推進と養護教諭の役割

一子供の現代的な健康課題の解決に向けて」

文部科学省初等中等教育局

健康教育・食育課 健康教育調査官

岩 崎 信 子

- (3) フォーラム 「子供たちの未来を支える健康診断を目指して」

コーディネーター

東京大学名誉教授

衛 藤 隆

シンポジスト

愛知県安城市立安城北部小学校 養護教諭

井 上 優 子

富山県滑川市立滑川中学校 養護教諭

山 田 智 世

栃木県立馬頭高等学校 養護教諭

渡 部 るみ子

広島市立広島特別支援学校 保健主事（教諭）

中 岡 美 穂

（養護教諭

木 村 真規子）

10 参 加 者

- (1) 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・義務教育学校・中等教育学校・特別支援学校等の養護教諭
- (2) 都道府県・政令指定都市教育委員会関係者
- (3) その他の学校関係者

調査研究委員会

< 目 的 >

本調査研究委員会は、養護教諭の専門性の構築や健康教育の推進を図るため、調査方法・調査内容・調査結果の分析・調査結果の活用について、検討及び協議し、全国養護教諭連絡協議会のさらなる発展に資することを目的とする。

< 活動内容 >

【平成27・28年度 調査研究委員会の活動経過】

- ◇第1回調査研究委員会 平成27年10月17日（土）
 - 委員の委嘱・組織編成・各委員の役割分担
 - 委員会事業計画（日程調整）
 - 調査要項、調査内容の検討
 - テスト入力の検討
- ◇第2回調査研究委員会 平成28年3月12日（土）
 - テスト入力結果の検討
 - 調査依頼の検討
- ◇第3回調査研究委員会 平成28年8月20日（土）
 - 報告書内容の検討
 - データ処理、報告書形式の検討
 - 調査日程等の確認・・・入力開始（10～1月）
集計表、グラフの作成（3月）
- ◇第4回調査研究委員会 平成29年3月11日（土）
 - 報告書内容の確認
 - 調査実施後の課題の確認
 - 報告書完成までの計画確認

【確認事項】

- ① 委員の委嘱は、年度内の10月1日～翌々年度の9月30日までとする。
- ② 委員は、調査項目の検討、調査集計及び報告書の作成と、一連の仕事に携わる。
- ③ 平成25年度より、Web入力とし、データ処理は業者委託とする。
- ④ 調査は隔年とする。

調査研究委員会設置要項

(設置・名称)

第1条 全国養護教諭連絡協議会の常設委員会として設置し、「調査研究委員会」と称する。

(目的)

第2条 本調査研究委員会は、養護教諭の専門性の構築や健康教育の推進を図るため、調査方法・調査内容・調査結果の分析・調査結果の活用について、検討及び協議し、全国養護教諭連絡協議会の更なる発展に資することを目的とする。

(事業内容)

第3条 本調査研究委員会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

- (1) 調査方法の研究協議
- (2) 調査内容の研究協議
- (3) 調査結果の分析及び分析方法の研究協議
- (4) 調査結果の活用に関する研究協議
- (5) 調査研究報告書の作成
- (6) 調査結果の活用に関すること

(構成)

第4条 本調査研究委員会は、全国養護教諭連絡協議会会長（以下「会長」という。）が委嘱した委員及び本部役員の担当者をもって構成する。

(選出・任期)

第5条 委員は、全国養護教諭連絡協議会各ブロックより推薦を受けた会員の中から会長が若干名を委嘱するものとする。その任期は2年とし、再任は妨げない。

- 2 本部役員の担当者は、その年度の役員の中から会長が指名するものとする。
- 3 委員の任期の期間は、その年度10月1日より翌々年度9月30日までとする。

(会議の運営等)

第6条 委員の中から調査研究委員長（以下「委員長」という。）及び副委員長を互選する。

- 2 会長は、委員長の求めに応じて調査研究委員会を招集する。
- 3 委員長は、事業計画に基づき会議を運営する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代行する。
- 5 担当役員は、事業を実施する上での連絡調整にあたる。

(守秘義務)

第7条 会長は、委員に対して調査研究委員会において知り得たことについて、守秘義務を課すことができるものとする。

(事務局)

第8条 本委員会の事務局を全国養護教諭連絡協議会事務所に置く。
委員会に関する庶務は担当役員が行う。

(その他)

第9条 この要項に定めるもののほか、調査研究委員会に関して必要な事項は、役員会で定めるものとする。

附則 ・ この要項は、平成17年6月26日より施行する。
・ この要項は、平成25年3月9日一部改正

研究誌「瑞星」編集委員会

1 編集趣旨

全国の養護教諭をつなぐ研究誌「瑞星」は、めでたい兆しを示す星を意味する。

この研究誌「瑞星」が、児童生徒の健康を守り育てる養護教諭の指針となり、さらに養護教諭相互の資質向上の推進を図る。また、「瑞星」は研究誌として養護教諭の歴史であり、全国養護教諭連絡協議会のあゆみでもある。

2 「瑞星」第10号編集テーマ及び内容

(1) 編集テーマ

「養護教諭のコーディネーターとしての役割とは」

～平成26年度 養護教諭の職務に関する調査結果から～

平成26年度 養護教諭の職務に関する調査結果から、多様化・複雑化している健康課題に対応するためには、個別の保健指導・個別の支援がより重要性を増してきていることが明らかになった。今後、養護教諭に求められる役割として、これまで以上に、関係者・関係機関等との連絡調整を行い、情報の共有を図りながら、子供たちの支援等を行っていくことが必要である。そこで、養護教諭が専門性を発揮し、コーディネーターとしての役割を果たしていくことが大切であると考え、編集を行った。

(2) 編集内容

① 発刊10号を記念して～研究誌「瑞星」のあゆみ～

創刊から10号までの表紙と掲載内容を紹介

② 実践事例

3分野において、各分野7～8事例、校種別の事例を掲載した。

「保健管理」 健康観察・健康診断からの健康課題、アレルギー・慢性疾患等の対応について、関係者や関係機関等と情報を共有し連携した保健管理事例

「健康相談」 心身の健康問題の早期発見と対応のために、保護者、関係機関等と情報を共有し、連携を生かした健康相談事例

「特別支援」 個別の支援計画を策定し、関係者や関係機関等との連携を重視した養護教諭が行う特別支援教育事例

キーワード 「情報の共有化」「校内体制の整備」「関係者・関係機関との連携」

③ 活動のあゆみ

○ 「平成26年度養護教諭の職務に関する調査」より抜粋して掲載した。

- ・複数配置状況、効果
- ・児童虐待(疑いも含む)の実態、課題等
- ・調査結果のまとめと考察

○ 研修会

第18回研修会(平成27年7.8月開催)

第19回研修会(平成28年7月開催)

各講義の内容、参考資料、講義の様子等を掲載した。

○ 研究協議会

第20回 研究協議会 (平成27年2月開催)

第21回 研究協議会 (平成28年2月開催)

「研究協議会報告書」より抜粋し全養連の活動報告並びに、フォーラム、ディスカッションを中心に掲載した。

④ 全国養護教諭連絡協議会の動向 平成27年度、28年度の沿革年表を掲載した。

3 編集委員会の経過 (平成28年度分)

- (1) 第6回 編集委員会 平成28年5月14日(土)
 - ・実践事例原稿の読み合わせ。
- (2) 第7回 編集委員会 平成28年7月9日(土)
 - ・実践事例原稿の確認。
 - ・表紙、イラストの検討。
 - ・目次、とびら、編集後記、執筆者一覧等の確認。
- (3) 第8回 編集委員会 平成28年8月20日(土)
 - ・実践事例原稿最終確認し、第1回入稿。
 - ・表紙、挿絵決定。
 - ・図、目次、執筆者一覧、編集後記完成。
 - ・販売と発刊のお知らせの通知検討。
 - ・各種お礼状送付。
- (4) 第9回 編集委員会 平成28年9月24日(土)
 - ・第1回校正。読み合わせ、修正し第2回入稿。
 - ・販売方法確認。
- (5) 第10回 編集委員会 平成28年10月15日(土)
 - ・第2回校正。読み合わせ、修正し第3回入稿。
- (6) 役員会 平成28年11月12日(土)
 - ・役員で校正。
 - ・修正箇所については、編集委員会と連絡を取り修正し第4回入稿。
- (7) 役員会 平成28年12月10日(土)
 - ・役員で最終校正し、最終入稿。
- (8) 事前申し込み締め切り(事務局) 平成28年12月16日(金)

平成29年1月 瑞星第10号 発行となる

1月より随時発送

- (9) 第22回研究協議会にて販売。 平成29年2月24日(金)

4 今後の販売について

事務局が販売窓口である。

ホームページ編集

1 目的

全国養護教諭連絡協議会の広報活動の充実を図る。

2 編集内容

(1) 本会の概要

- | | | |
|------------|------|-------------|
| ① 会長あいさつ | ④ 沿革 | ⑦ 事務局へのアクセス |
| ② 目標と事業・会則 | ⑤ 役員 | |
| ③ 各地区研究会 | ⑥ 総会 | |

(2) 活動内容

- | | |
|--------|-------------|
| ① 基本方針 | ④ 研修会・研究協議会 |
| ② 活動方針 | ⑤ 調査研究 |
| ③ 事業計画 | ⑥ 要請・要望活動 |

(3) 会報・冊子

- | | |
|-------|-----------|
| ① 会報 | ③ 研究誌「瑞星」 |
| ② 記念誌 | ④ 研修会記録 |

(4) 関連リンク

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ・公益財団法人 日本学校保健会 | ・日本養護教諭教育学会 |
| ・文部科学省 | ・健やか親子21 |
| ・厚生労働省 | ・一般社団法人 日本学校歯科医会 |
| ・独立行政法人 日本スポーツ振興センター | ・公益社団法人 日本精神神経科診療所協会 |
| ・インフルエンザ行政サービス | ・日本学校保健学会 |
| ・発達障害情報教育センター | |

3 編集の経過

6月 HPの更新

平成28年度総会
第19回研修会開催要項 申し込み(6/20~7/15)
第21回研究協議会報告
全国養護教諭研究大会要項(滋賀県大津市)

7月 全養連だより第1号

9月 第22回研究協議会案内 第19回研修会の報告

10月 平成28年度養護教諭の職務に関する調査 会報73号 全養連だより第2号 瑞星10号案内

11月 第22回研究協議会開催要項 特別講演案内 会則の掲載

12月 第22回研究協議会参加申し込み(12/12~1/31)

1月 瑞星発行 申し込み

全養連だより第3号

2月 第20回研修会案内

3月 第22回研究協議会報告 第23回研究協議会案内

4月 会報74号

第20回研修会開催要項
全養連だより第4号

5月 平成29年度基本調査

会 報 編 集

1 主旨 全会員の学校保健推進のための情報活動として、年2回発行する。

2 平成28年度掲載内容

<第73号>平成28年9月30日発行予定

P 1	巻頭言	村井 伸子 副会長
P 2	寄稿文	1 公益社団法人 日本薬剤師会 常務理事 村松 章伊 氏 2 全国学校保健主事会 会長 東 邦裕 氏
P 3	活動報告	平成28年度総会・第18回学校保健連絡協議会報告 全国養護教諭研究大会(滋賀県)報告
P 4～5	活動報告	全国養護教諭連絡協議会 第19回研修会報告
P 6	活動報告	養護教諭の職務に関する調査報告NO. 3
P 7	活動予告	瑞星編集委員会発刊予告 第22回研究協議会予告

<第74号>平成29年3月31日発行予定

P 1	巻頭言	湯田 厚子 副会長
P 2	寄稿文	1 文部科学省 健康教育調査官 小出 彰宏 氏 2 全国高等学校校長協会 会長 宮本 久也 氏
P 3	活動報告	平成26年度養護教諭の職務に関する調査よりNO. 4
P 4～5	活動報告	第22回研究協議会報告
P 6～7	研究会交流コーナー	① 栃木県養護教育研究会 ② 奈良県学校保健会養護教員部会 ③ 東京都私立国公立養護教諭研究会 ④ 山形県小中高等学校教育研究会 養護教諭連絡協議会
P 8	活動予告	第20回研修会予告

3 活動経過

① 会報73号

- ・第2回役員会（7月9日）企画・編集について提案
- ・校正4回
- ・発行・各研究会へ発送（平成28年9月30日付）

②会報74号

- ・第4回役員会（10月15日）企画・編集について提案
- ・校正5回
- ・発行・各研究会へ発送（平成29年3月31日付）

4 研究会交流コーナー 平成29年度・平成30年度掲載研究会予定

29年度（76号）	① 長野県学校保健会養護教諭部会	② 富山県養護教諭会
	③ 福井県養護教諭研究会	④ 岡山県学校保健会養護教諭部会

30年度（78号）	① 愛知県養護教育研究会	② 川崎市学校保健会養護教諭部会
	③ 全国養護教諭連絡協議会宮崎県研究会	④ 福岡県高等学校養護教諭研究会

平成28年度全国養護教諭研究大会開催要項

1 趣 旨

近年の社会環境や生活様式の急激な変化は、子供たちの心身の健康に大きな影響を与えており、生活習慣の乱れ、いじめや不登校、ストレスによる心身の不調などのメンタルヘルスに関する問題、アレルギー疾患、性に関する問題行動や薬物乱用、感染症など、子供たちの心身に関わる様々な健康問題が生じている。

これらの健康課題に適切に対応するためには、学校、家庭、地域が連携した組織的な取組体制の充実を図るとともに、学校教育全体を通して、ヘルスプロモーションの理念を生かした健康教育を推進していくことが重要である。

また、21世紀を担う子供たちが生涯を通じて健康で心豊かに生きるために、自ら課題を見付け、主体的に課題を解決する資質や能力の育成を図ることが求められる。

そこで、本大会においては、現代的な健康課題の解決に向けた地域社会との連携、及び学校保健活動の中核的役割を担う養護教諭に求められる役割について研究協議を行い、学校における健康教育の推進及び養護教諭のより一層の資質向上に資することを目的とする。

2 主 題

生きる力を育む健康教育の推進と養護教諭の役割
～子供の現代的な健康課題の解決に向けて～

3 主 催 文部科学省、滋賀県教育委員会、大津市教育委員会、公益財団法人日本学校保健会、滋賀県学校保健会、大津市学校保健連絡協議会、全国養護教諭連絡協議会、滋賀県養護教諭研究会

4 後 援 滋賀県、大津市、滋賀県小学校長会、滋賀県中学校長会、滋賀県高等学校長協会、滋賀県特別支援学校長会、一般社団法人滋賀県医師会、一般社団法人滋賀県歯科医師会、一般社団法人滋賀県薬剤師会

5 期 日 平成28年8月4日（木）、5日（金）

6 会 場 滋賀県大津市

＜全体会・課題別研究協議会＞	びわ湖ホール	(大津市打出浜 15-1)
＜課題別研究協議会＞	ピアザ淡海	(大津市におの浜 1-1-20)
	ホテルピアザびわ湖	(大津市におの浜 1-1-20)
	琵琶湖ホテル	(大津市浜町 2-40)
	滋賀県庁	(大津市京町 4-1-1)
	コラボしが21	(大津市打出浜 2-1)
	大津市民会館	(大津市島の関 14-1)

7 日 程

8月4日 (木)	9:20 10:00 10:30		12:00 13:10		14:20		16:30
	受付	開会 行事	記念講演	昼食	基調講演	シンポジウム	
8月5日 (金)	9:20		12:00				
	受付	課題別研究協議会 (8課題)	閉会 行事				

8 内 容

(1) 全体会

① 開会行事

② 記念講演

演 題 「今、豊かに生きぬく力を育むために」
講 師 鳴門教育大学特任教授 森田 洋司

③ 基調講演

演 題 「生きる力を育む健康教育の推進と養護教諭の役割」
講 師 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課
健康教育調査官 岩崎 信子

④ シンポジウム

演題：「生きる力を育む健康教育の推進と養護教諭の役割」
～子供の現代的な健康課題の解決に向けて～

コーディネーター	跡見学園女子大学教授	松寄 くみ子
シンポジスト	滋賀県医師会 学校医	野村 康之
	福島県教育庁会津教育事務所 学校教育課 指導主事	
	(前 西白河郡西郷村立西郷第二中学校長)	高橋 伸明
	広島県教育委員会事務局 管理部 主査	山内 領二
	山梨県南巨摩郡身延町立西島小学校養護教諭	有野 久美

(2) 課題別研究協議会 (別表)

9 参加者

- (1) 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の養護教諭
- (2) 都道府県・指定都市等教育委員会関係者
- (3) 学校保健関係者

10 資料代 (参加費) 5,000円

11 その他

- (1) 大会会場の駐車場 (有料) は、駐車台数が限られていますので、できるだけ公共交通機関を利用ください。
- (2) 詳細については、大会事務局へお問い合わせください。

大会事務局

〒520-8577

滋賀県大津市京町4丁目1番1号

滋賀県教育委員会事務局保健体育課

平成28年度全国養護教諭研究大会 滋賀県実行委員会事務局【担当 大前 住吉】

電話：077 (528) 4614 FAX：077 (528) 4955

平成28年度全国養護教諭研究大会 課題別研究協議会

課 題		研究協議題	研究協議題設定の理由	研究協議題の内容
第1課題	保健管理	学校、家庭及び地域の医療機関等と連携を図った保健管理の進め方	保健管理の充実を図るためには、学校・家庭・地域の医療機関等が連携していく必要がある。 そこで、健康診断の適切な実施、感染症等の疾病予防、学校環境衛生管理等の進め方について研究協議する。	① 健康診断の適切な計画・実施・評価及び事後措置の進め方並びに結果の活用 ② 結核・インフルエンザ等の感染症の予防と発生時の対応 ③ 学校環境衛生基準に基づいた日常的な維持管理と学校薬剤師との連携の進め方
		組織的に機能する保健室経営の進め方	子供の健康づくりを効果的に推進するためには、学校保健活動のセンター的役割を果たしている保健室経営の充実を図ることが求められている。 そこで、学校経営の観点に立った保健室経営計画により、計画的、組織的に保健室経営を推進することについて研究協議する。	① 教育目標・学校保健目標の具現化を図る保健室経営計画の作成と実施及び評価の進め方 ② 学校保健活動のセンター的役割を担う保健室経営の進め方 ③ 学校・家庭・地域社会と連携した保健室経営の進め方（学校保健委員会等）
第3課題	健康相談	児童生徒の心身の健康づくりを推進する健康相談の進め方	学校保健安全法には、学校医、学校歯科医のみならず養護教諭等が行う健康相談が位置づけられ、健康相談の一層の充実を図ることが求められている。 そこで、いじめ、不登校、児童虐待等の早期発見・早期対応、校内組織や医療機関等との連携体制づくり、家庭との連携の進め方等について研究協議する。	① 心身の健康問題への適切な対応を図るための校内組織（教育相談部等）との連携体制づくり ② 心身の健康問題への適切な対応を図るための家庭や医療機関等との連携の進め方 ③ 健康観察、保健室利用、健康調査、教職員間の情報共有等による心身の健康問題の把握と問題に応じた健康相談の進め方
		養護教諭の職務の特質を生かした保健教育への参画や具体的な支援の進め方	生涯を通じて心豊かで健康に生きる力を育むためには、学校教育活動全体で組織的・計画的な保健教育を推進することが重要である。 そこで、養護教諭の職務の特質を生かした保健学習や保健指導への関わり方、進め方について研究協議する。	① 養護教諭の職務の特質を生かした保健学習への関わり方及び進め方 ② 主体的に健康課題を解決するための実践力や態度を育成する学級（HR）活動、児童会・生徒会活動、学校行事等における保健指導の進め方 ③ 家庭や地域と連携した総合的な学習の時間における健康教育への関わり方及び進め方

課 題		研究協議題	研究協議題設定の理由	研究協議題の内容
第5課題	歯・口の健康づくり	生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方	生涯にわたる健康づくりを实践するためには、健康に関心をもち、自分の課題に気づき、主体的に改善できる資質や能力を育てることが重要である。 そこで、歯と口の健康づくりを通して、生活習慣に関わる課題を解決するための実践力を育てる歯科保健活動の進め方について研究協議する。	① 生活習慣に関わる課題を解決するための実践力を育てる歯科保健活動の進め方 ② 教科、総合的な学習の時間及び特別活動等における歯科保健の指導計画の作成と指導の進め方 ③ 学校・家庭・地域社会と連携した歯科保健活動の進め方（学校保健委員会等）
第6課題	性に関する指導	豊かな人間性を育む性に関する指導の進め方	近年、性に関する意識や価値観の変化、性情報の氾濫等により、性に関する問題が深刻化している。そのため、児童生徒が性に関して適切に理解し、望ましい行動ができるようにすることが課題となっている。 そこで、学校教育活動全体を通じて共通理解を図り、児童生徒の発達段階や実態に応じた指導の進め方や、学校・家庭・地域社会との連携の進め方等について研究協議する。	① 発育・発達や健康課題に対応した性に関する指導の進め方 ② 教科、総合的な学習の時間、特別活動等における性に関する指導計画の作成と指導の進め方 ③ 学校・家庭・地域社会と連携した性に関する指導の進め方（学校保健委員会等）
第7課題	喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育	生涯を通じて健康な生活を送るための実践力を育てる喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方	未成年の喫煙や飲酒、青少年の薬物乱用の未然防止には継続的な取組が必要であり、学校における喫煙、飲酒、薬物乱用防止の指導の徹底が求められている。 そこで、科学的知識に基づいて適切に判断し、正しい行動選択ができる資質や能力の育成及び実践力を育てる指導の進め方、学校・家庭・地域社会との連携の進め方等について研究協議する。	① 児童生徒の意志決定と行動選択など実践力を育てる喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方 ② 教科、総合的な学習の時間及び特別活動等における喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の指導計画の作成と指導の進め方 ③ 学校・家庭・地域社会と連携した喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方（学校保健委員会等）
第8課題	健康・安全に関わる危機管理	生涯にわたって健康で安全な生活を送る基礎を培う危機管理の進め方	学校においては、学校保健安全法で危険等発生時対処要領（危機管理マニュアル）の作成が義務付けられており、児童生徒の安全確保のためには適切に機能することが求められている。危機管理マニュアル作成に当たっては、学校安全計画に含まれている安全に関する指導や施設・設備の安全点検、教職員の研修等との関連を図り、実効性がある内容としなければならない。 そこで、危機管理マニュアルが適切に機能するための体制整備、関係機関との連携等について、養護教諭の視点に立った関わり方や進め方をテーマとして研究協議する。	① 交通安全、生活安全（防犯も含む）、災害安全（防災）の各領域における指導や教職員の校内研修における養護教諭の関わり方や進め方 ② 事件・事故災害時の救急体制、心のケア等に関する危機管理マニュアルの作成と体制整備の進め方 ③ 学校・家庭・医療機関等と連携した危機管理の進め方

課題		研究発表者	講師・指導助言者	会場
第1課題	保健管理	協議内容① 京都府綾部市立綾部中学校 養護教諭 森津 幸代 協議内容② 滋賀県立野洲養護学校 養護教諭 稲山 里美 協議内容③ さいたま市立植水小学校 養護教諭 菊池 良子	○ 講師 法政大学大学院 教授 鬼頭 英明 ○ 指導助言者（コーディネーター） 秋田県立秋田中央高等学校 養護教諭 関谷 啓子	ホテルピアザびわ湖
第2課題	保健室経営	協議内容① 栃木県芳賀郡市貝町立市貝中学校 養護教諭 田崎 和子 協議内容② 滋賀県立彦根西高等学校 養護教諭 若松 育子 協議内容③ 島根県出雲市立荒木小学校 養護教諭 片寄 百合子	○ 講師 順天堂大学 教授 采女 智津江 ○ 指導助言者（コーディネーター） 福岡県教育委員会 体育スポーツ健康課 指導主事 松崎 美枝	ピアザ淡海
第3課題	健康相談	協議内容① 高知県立大方高等学校 養護教諭 武田 園 協議内容② 滋賀県大津市立仰木中学校 養護教諭 辻 寛子 協議内容③ 横浜市立大口台小学校 養護教諭 吉澤 千春	○ 講師 名古屋市教育委員会 学校教育指導室 主任指導主事 山口 純枝 ○ 指導助言者（コーディネーター） 愛媛県教育委員会保健体育課 指導主事 西尾 しき	コラボしが21
第4課題	保健教育	協議内容① 山梨県立増穂商業高等学校 養護教諭 河住 美雪 協議内容② 滋賀県草津市立老上中学校 養護教諭 小杉 雅子 協議内容③ 広島県福山市立長浜小学校 養護教諭 萩原 桂子	○ 講師 聖心女子大学 教授 植田 誠治 ○ 指導助言者（コーディネーター） 熊本県教育庁教育指導局体育保健課 主幹兼健康教育係長 後迫 貴利子	県庁東館7階大会議室

課題		研究発表者	講師・指導助言者	会場
第5課題	歯・口の健康づくり	協議内容① 滋賀県守山市立玉津小学校 養護教諭 清水 由美子 協議内容② 静岡県立清水特別支援学校 養護教諭 小嶋 喜久子 協議内容③ 北九州市立曾根中学校 養護教諭 川原 鈴穂	○ 講師 昭和大学 客員教授 井上 美津子 ○ 指導助言者（コーディネーター） 浜松市立都田小学校 教頭 田中 公子	琵琶湖ホテル
第6課題	性に関する指導	協議内容① 滋賀県立八日市高等学校 養護教諭 山本 直子 協議内容② 奈良県奈良市立明治小学校 養護教諭 櫻井 由美 協議内容③ 岡山県立倉敷天城中学校 養護教諭 中桐 省子	○ 講師 筑波大学大学院 教授 野津 有司 ○ 指導助言者（コーディネーター） 横浜市立獅子ヶ谷小学校 校長 佐久間 京子	大津市民会館
第7課題	喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育	協議内容① 福岡市立姪浜中学校 養護教諭 井上 智美 協議内容② 岐阜県立各務原高等学校 養護教諭 玉木 里佳 協議内容③ 滋賀県甲賀市立伴谷小学校 養護教諭 竹原 利恵	○ 講師 埼玉県立精神医療センター 副病院長 成瀬 暢也 ○ 指導助言者（コーディネーター） 大阪府教育庁教育振興室保健体育課 指導主事 本田 史歩	琵琶湖ホテル
第8課題	健康・安全に関わる危機管理	協議内容① 仙台市立八乙女中学校 養護教諭 伊藤 香奈 協議内容② 大阪市立桜宮高等学校 養護教諭 幡中 理恵 協議内容③ 滋賀県湖南市立石部小学校 養護教諭 柴田 広美	○ 講師 兵庫教育大学大学院 教授 西岡 伸紀 ○ 指導助言者（コーディネーター） 富山県教育委員会保健体育課 指導主事 荒俣 寿生	琵琶湖ホテル

平成 28 年度 公益財団法人 日本学校保健会事業の概況

I 基本方針

子供を取り巻く生活環境や社会環境が急激に変化している中、心身両面に関わる様々な健康課題が顕在化の傾向にある。この様な子供の現代的健康課題に適切に対応するため、学校保健が当面する健康課題解決に向け、調査研究及びその成果の提供、会報の発行、学校保健関係図書等の頒布、ウェブサイトでの広報、学校保健用品等の推薦・斡旋、健康づくり推進学校の表彰、研修会・講演会等の実施を通じて、学校保健の振興、普及啓発、調査研究を図ることを基本方針としている。

本年度は、文部科学省の監修で改訂された『児童生徒等の健康診断マニュアル』の完全実施の年度にあたり、支援事業として成長曲線研修会を 6 会場で開催した。その他新規事業として国際化、心肺蘇生（AED）支援委員会等が立ち上がった。国際化事業では、本会の貴重な資料が世界に向けて発信される意義は大きい。100 周年準備会を事業に位置付け 3 年後に迎える周年行事の準備が始まった。

運営については、本年度においても、引き続き経費節減に向け、さらなる事業の見直し、賛助会費等の外部資金の確保、事業収入の拡充方を講ずる等、本会の経営の安定化と共に、公益財団として将来を見据えた長期計画による財政基盤の確立に取り組んでいる。

II 事業

1. 学校保健の振興に関する事業

〔一般事業〕

- (1) 熱中症対策支援 〔継続〕
- (2) 医薬品教育啓発 〔新規〕
- (3) 学校における飲酒防止教育支援 〔継続〕
- (4) 職域研究大会等への助成 〔終期設定なし〕

〔国庫補助事業（健康教育振興事業費補助金）〕

（調査研究事業）

- (1) 児童生徒の健康状態サーベイランス 〔終期設定なし〕
- (2) 保健室利用状況に関する調査 〔継続〕

（健康増進事業）

- (1) 学校健康づくり啓発 〔終期設定なし〕〔対象拡大・継続〕
- (2) 国際化事業委員会 〔新規〕
- (3) 学校における心肺蘇生（AED）支援委員会 〔新規〕
- (4) 保健学習推進 〔継続〕
- (5) 保健教育推進 〔継続〕
- (6) 学校における水泳プールの保健衛生管理の改訂 〔継続〕

- (7) 降灰地域等学校保健事業 [H28年度]
- (8) ブロック別研究大会等への助成 [終期設定なし]

2. 学校保健の普及に関する事業

[一般事業]

- (1) 100周年事業準備(記念事業)
- (2) 会報「学校保健」の発行
- (3) 「学校保健の動向」の発行
- (4) 「学校と家庭で育む子どもの生活習慣」の発行(教職員・保護者)
- (5) 学校保健関係図書等の頒布
- (6) 学校保健会広報 (HP)
学校保健情報委員会・健康診断映像作成部会
- (7) 学校保健用品等の推薦・斡旋
- (8) 受託事業

- (9) 学校感染症等情報収集システムの在り方検討委員会 [継続]
(健康教育振興事業費補助金)

(普及指導事業)

- (1) 日本学校保健会事業報告会 平成29年2月16日(木)
- (2) 学校保健情報提供(P S)
 - ①統括委員会(HP・P S・学校感染症等情報収集システム)
 - 企画運営委員会(小):特集企画(座談会等)

3. 学校保健の啓発に関する事業

[一般事業]

- (1) 全国健康づくり推進学校表彰 [終期設定なし]
- (2) 学校保健関連研究会等支援 [終期設定なし]
- (3) 研修会・講演会の開催
 - ①第7回夏季特別セミナー「子どもの健康と睡眠」
東京都新宿区 平成28年8月5日(金) 四谷区民ホール 366名
 - ②第4回学校における飲酒防止教育支援研修会
東京都港区 平成28年8月24日(水) 発明会館 ホール 70名

[国庫補助事業]

- ①「自信をもって取り組める医薬品教育研修会」(全国2会場)
 - 横浜市 平成28年11月4日(金) 横浜市西公会堂 104名
 - 宮崎県 平成28年12月13日(火) 新富町文化会館 230名

②「喫煙・飲酒・薬物乱用防止研修会」(全国3会場)

沖縄県 平成28年6月20日(月) 浦添市てだこホール 212名
滋賀県 平成28年10月20日(木) 栗東芸術文化会館さきら 199名
京都市 平成29年1月20日(金) 京都市総合教育センター 161名

③「成長曲線研修会」[新規] 全国6会場

長崎県 平成28年7月14日(木) 長崎ブリックホール 317名
仙台市 平成28年8月23日(火) 日立システムズホール仙台 414名
富山県 平成28年8月29日(月) 富山県農協会館ホール 168名
神奈川県 平成28年9月21日(水) 神奈川県立青少年センター 347名
高知県 平成28年11月8日(火) 高知県立県民文化ホール 190名
兵庫県 平成28年12月6日(火) 兵庫県看護協会ハーモニーホール 376名

④「保健教育推進研修会」[補助金新規] 全国2会場

埼玉県 平成28年8月1日(月) 大宮ソニックシティ 62名
青森県 平成28年12月26日(月) 県民福祉プラザ 93名

(4) 全国学校保健会啓発事業

[一般事業]

- ①全国学校保健会運営担当者会議 平成28年4月21日(木)
- ②全国学校保健会中央大会 平成28年10月28日(金)

4. その他

- (1) 文部科学省、日本医師会、日本歯科医師会、日本学校歯科医会、日本薬剤師会、本会加盟団体、教育関連団体等との連携
- (2) 平成28年度全国学校保健・安全研究大会〔平成28年10月27日(木)・28日(金)〕の開催への協力(北海道・札幌)
- (3) 本会の目的達成に必要な事業(緊急対応課題等)
- (4) 内閣府立入検査 平成28年9月5日(月)

平成28年度 全国健康づくり推進学校表彰事業実施要項

1 趣 旨

教育基本法第1条においては、「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。」としている。

生涯を通して、よりよく健康を保持増進するためには、幼少年期からの生活習慣や環境など健康的な生活行動が大きく影響することから、学校における健康教育、健康管理は重要である。

このような観点から、学校と家庭、地域社会と連携を図り積極的に健康づくりを推進し、成果を挙げている学校を表彰し、もってその充実・普及を図る。

2 主 催

公益財団法人 日本学校保健会（以下、日本学校保健会という）

3 後 援

文部科学省・厚生労働省・（公社）日本医師会・（公社）日本薬剤師会・（一社）日本学校歯科医会・全国連合小学校長会・全日本中学校長会・全国高等学校長協会・全国特別支援教育推進連盟・全国学校保健主事会・全国養護教諭連絡協議会・（公社）日本PTA全国協議会・（公社）全国学校栄養士協議会・朝日新聞社・産経新聞社・日本経済新聞社・毎日新聞社・読売新聞社

4 特別協賛

日本コカ・コーラ株式会社

5 表彰の対象

国公立の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校

6 被表彰候補校の推薦

（1）応募する学校は、全国健康づくり推進学校の活動状況調査票（別紙様式2、以下「調査票」という）に健康づくりのための活動状況の要点を記入し、都道府県学校保健（連合）会及び政令指定都市学校保健会に提出する。

（2）都道府県学校保健（連合）会及び政令指定都市学校保健会は、次に定める推薦数並びに基準によって被推薦校の推薦を行い、調査票に全国健康づくり推進学校表彰推薦書（別紙様式1、以下「推薦書」という）を添えて、日本学校保健会に提出する。

1) 推薦数

道府県・政令指定都市は、小学校3校 中学校1校 高等学校1校 特別支援学校1校の推薦

東京都は、小学校5校 中学校2校 高等学校2校 特別支援学校2校の推薦

ただし、義務教育学校にあっては小学校として、あるいは中学校として応募するかを、また中等教育学校にあっては中学校として、あるいは高等学校として応募するかについて申し出るものとする。

2) 推薦の基準

健康づくりのために、健康教育、健康管理及び組織活動を内容とする学校保健計画、学校安全計画、食に関する計画が適切に実践され、具体的な健康課題について、学校・家庭・地域社会が連携し、解決に向けて成果を挙げている学校。

ただし、過去3年間連続して推薦された学校にあっては、2年間において推薦するものとする。なお、最優秀校を受賞した学校にあっては、3年間において推薦するものとする。

- 7 推薦書等の提出
平成28年8月末日までとする。
- 8 審査の方法
都道府県学校保健(連合)会及び政令指定都市学校保健会から推薦された学校について、学識経験者等による審査会を設けて審査を行い、最優秀校、優秀校、優良校等を決定する。
審査は、書類による一次審査及び学校訪問による二次審査とする。
- 9 特別協賛社賞
特別協賛社賞は、学校訪問による二次審査を行った学校のなかから選定する。
- 10 表 彰
表彰式は、当該年度に開催し、日本学校保健会会長が表彰状を授与して行う。
表彰式に併せて実践発表を行うほか実践事例集を刊行し、健康づくりのための活動の普及・充実を図る。
- 11 表彰式の期日及び場所
平成29年1月14日(土) 日本医師会館